

全天候型水性反応硬化形 低飛散多機能弾性下地調整剤

アレスダイナミック防水フィラー

系 統 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 湿潤面適性を有します。
強化剤を用いることで、濡れた状態の被塗面(湿潤面)に対しても強い付着力を有します。
- 2) 晴天時は主材のみでも使用可能です。
- 3) 各種旧塗膜への付着が優れており、シーラーレス塗装が可能です。
- 4) 各種下地への付着が優れています。
- 5) 長期耐久性が優れています。
- 6) 塗装作業性が優れています。
- 7) 防カビ・防藻性を有しています。
- 8) クラック充填性が優れています。
- 9) 緻密で滑らかな肌を有しており、上塗り塗装時の仕上がりが(光沢感)に優れています。

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	主材 16kg 強化剤 0.08kg
2 混 合 比	主材のみ(晴天時)、主材/強化剤=100/0.5
3 色	白
4 つ や	つや消し
5 仕 上 が り 感	さざ波状
6 塗 料 比 重	1.45
7 溶 剤 比 重	1.00(上水)
8 加 熱 残 分	69%
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	主材 — 強化剤 —
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	主材 非危険物 強化剤 第4類 第3石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	イソシアネート

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	多孔質 ローラー				
希 積 率	1~5%				
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.5~1.5				
希 積 剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。
湿潤面に塗装時の希積は水分の巻き込みを考慮し、1~3%程度少なく調整してください。

塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃	
標準塗装間隔	最 短	8 時間	
	最 長	7 日	
使 用 時 限		4時間*	

* 強化剤使用時(主材のみで用いる場合は使用制限はありません)。

主な適用素材

コンクリート、モルタル、窯業サイディングボード、ALC板

主な適用下塗塗料

アレスダイナミックシーラーアクア、アレス水性エポレジン、アレスダイナミックシーラーマイルド、浸透形Mシーラー、マルチタイルコンクリートプライマーEPO、エコカチオンシーラー 等

主な適用中塗塗料

アレスダイナミックMUKI中塗、アレスアクアセラフツ中塗

主な適用上塗塗料

アレスダイナミックTOP、アレスダイナミックMUKI(つや有のみ)、アレスアクアセラフツ上塗、アレスアクアセラシリコン、アレスアクアシリコンACⅡ、コスモシリコン 等

使用上の注意事項

- 1) 窯業系サイディングボードについては、無機系樹脂、光触媒処理、フッ素樹脂/シリコン樹脂など特殊な塗料で処理されたものには適用できません。
- 2) 強化剤は、主剤との結合が早い(使用制限が短い)ため、塗料の作り置きはせず、使用時に都度、調合して下さい。(高温環境で使用する場合、更に使用制限が短くなります)
- 3) 使用制限が過ぎた塗料は、所定の塗膜性能を発揮しないため、塗料状態が塗装可能であっても使用しないことを厳守して下さい。
- 4) 低温時(5℃以下)の塗装は避けて下さい。
- 5) 主材のみで使用する場合、多湿時(85%以上)での塗装は避けて下さい。
- 6) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下
- 7) (ケツ科学社製(H-2))または5%以下(ケツ科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)まで乾燥させた後、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装して下さい。
- 8) 新設素材面や旧塗膜の吸い込みが著しい場合には、必ずシーラーを塗装して下さい。
- 9) 塗装前には、漏水処理、クラック処理を行ってください。
- 10) 旧塗膜のチョーキング層は、高圧水洗等で除去して下さい。
- 11) 旧塗膜の浮きは、電動サンダー等で除去して下さい。
目違い、段差などは樹脂モルタル等で補修して下さい。(補修後はシーラーを塗装して下さい。)
- 12) 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓してください。
- 13) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。